

プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

カンボジア王国

トモ・プオ地域開発プログラム(CAM-195745)



支援を受けて勤勉さを学んだリン君(左から2人目、11歳)

チャイルドストーリー

チャイルド・スポンサーに励まされ、 勤勉さとやる気を身に付けたリン君

トモ・プオ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすリン君は、勉強が不得意で授業について行くことができずにいました。質問に正しく答えられない時に先生に怒られるのが嫌で、友だちと比べて勉強ができない自分が恥ずかしかったと言います。授業をさぼって牛の世話をしたり、野生動物を捕まえに行ったこともありました。両親は、リン君自身の将来のために学校を続けるのは重要だと思っていましたが、息子が抱える問題をどのように解決したらいいのかわからずにいました。そのような時にADPの支援が始まり、両親はリン君をワールド・ビジョン(以下、WV)のチャイルドとして登録しました。ADPの活動に参加するうちに、リン君は子どもの権利と保護、教育の重要性、衛生的な習慣について学びました。また、チャイルド・スポンサーからペンや本のプレゼントとともに、自分のことを気遣ってくださっていることが分かる手紙が届き、大いに元気づけら

れたと言います。

今ではリン君は以前よりも明るく、勤勉でやる気に満ちています。「大きくなったら、車や機械を修理する仕事をしたい」とリン君は明るい笑顔で将来の夢を話してくれました。



2人の弟とともに、チャイルド・スポンサーから送られた色鉛筆とノートを使って絵を描いています

地域組織化プロジェクト

住民組織の設立・強化を支援しています

地域の活動を持続的に発展させていくためには、住民組織を設立、強化していくことが重要です。ADPでは、これまでに設立された22の住民組織に対して、帳簿のつけ方や企画・立案の手法などの研修を行いました。また、ADPが支援の対象としている23の村すべてに青少年グループが設立され、メンバーの数は413人になりました。

これらの住民組織や青少年グループは、それぞれ地域づくりのための小規模事業の計画書を作り、地域内外の支援を受けて、子どもの栄養や衛生についての啓発活動、読書の推進、若者の職業訓練などの事業を行っています。2014年度は、1,366家族の子ども3,165人がこれら小規模事業の利益を受けました。



青少年グループで衛生的な生活習慣や道徳を学ぶ子どもたち



23の村に青少年グループを設立

教育プロジェクト

教育の重要性が理解され、地域住民の行動が変化してきています

地域の住民組織と協力し、就学前教育の普及に努めた結果、2014年度は7つの幼稚園が新たに設立されました。政府が設置した8つの幼稚園と合わせて、合計412人の子どもたちが幼稚園に通っており、園児数が2013年度の315人から大幅に増加しました。就学前教育を受けた子どもたちがスムーズに初等教育へ移行することにより、初等教育以降の退学率が下がり、教育効果が高まることが期待されています。初等教育の内容の充実のためには、2013年度に引き続き教員や校長の研修を行っています。この結果、教師の教育方法が改善しつつあります。子どもたち自身の権利と参加促進のため、生徒会の整備と活性化にも協力しています。



住民主導で設立された幼稚園で工作に取り組む就学前教育の子どもたち



就学前教育(幼稚園教育)を受ける子どもの数が増加

315人(2013年) → 412人(2014年)

保健プロジェクト

5歳未満の子どもとその母親の健康な生活のために、活動を始めました

保健や衛生に関して重要な役割を担う地域内の政府機関や住民グループの代表者141人に対して、栄養教室や給食プログラムについての研修を行いました。研修参加者は、地域で妊産婦や母親・保護者に対して栄養教室や子どもの給食プログラムを実施しています。

安全な出産に関しても、保健センターや村落保健支援グループなどを対象に、産前・産後健診の重要性と妊娠中の危険な兆候と対処法についての研修を行いました。研修参加者が50の村で妊産婦に対して啓発活動と経過観察を行った結果、医療専門職の介助で出産する妊婦の割合は2010年の政府統計では70%ほどでしたが、2014年度には90%にまで向上していることが確認できました。



栄養教室で子どものための栄養ある食事作りを学ぶ母親たち




医療専門職の介助で出産する妊婦の割合が増加

70% (2010年) → 90% (2014年)

水衛生プロジェクト

水が原因で発生する感染症削減のための活動を始めました

 **5,964**人が安全な水を得られるようになりました

水が原因で発生する感染症の削減を目指し、地域住民や行政とともに6つの貯水池と8つの井戸を整備しました。これにより2,641人の子どもを含む5,964人が安全な水を得られるようになりました。水の浄化が必要な地域に対しては90個の浄水フィルターも支援しています。また15人の女性や青少年のリーダーに対して、地域に根差

した衛生教育法の研修を実施しました。研修を受けたリーダーが地域で啓発教育を推進することにより、必要な衛生知識とトイレ設置・使用の普及を目指しています。学校関係者と協力して、口腔衛生の日のキャンペーンも開催し、3,234人の子どもたちが参加しました。



給水用の配管工事に参加する地域住民



口腔衛生の日のキャンペーンの様子



支援地域の女性のインタビュー

地域の子どもたちが以前より生き生きしてきました

Q. 家族構成を教えてください。

夫と2人の子どもがおり、3人目の子どもがもうすぐ生まれます。

Q. ADPのどのような活動に参加していますか。

地域ボランティアとして、子どもたちに爪切りや歯磨きの方法を教える活動をしています。

Q. ADPの活動に参加してどのような変化がありましたか。

地域の子どもたちが新しいことを学び、以前より生き生きとしてきました。私自身も子どもたちの役に立てて嬉しいです。

Q. 今の夢を教えてください。

地域に起きている変化がずっと続いていくことを願います。また、自分の店を成功させ、子どもたちが大学に進学できるように収入を向上させていきたいです。



支援地域で雑貨屋を営むシノンさん(31歳)

ADPマネージャー・インタビュー



Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

地域の人々と連携しながら、教育や水・衛生、保健、生計向上など、様々な活動に取り組んでいます。子どもたちが健やかに成長するためには、保護者の意識を変えることがとても重要です。このため、特に5歳以下の子どもを持つ保護者に対して、安全な水や衛生的な環境、栄養ある食事の重要性を伝えることに力を入れています。

Q.2014年の活動で大変だったことは何ですか。

タイへ出稼ぎのため移住してしまう家族が後を絶たないこと、行政との関係、また地域の人々の積極的な参加を引き出すことが大変でした。

Q.それらに対してどのような対策を行いましたか。

非合法的な移住の危険性についての啓発活動を行いました。また、行政の担当者とは連絡を密にし、良い協力関係の構築に努めています。地域の人々のところにはスタッフが頻りに訪問し、時には泊まり込み、ADPの活動への理解と参加を引き出す努力を重ねています。



トモ・プオ ADP マネージャー ネブ・ボウラ (39 歳)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

チャイルド・スポンサーへ送る絵を描くチャイルド

会計報告

CAM-195745

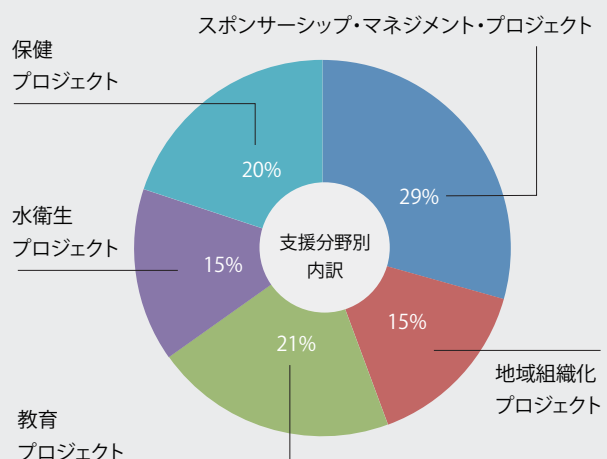
収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	30,542,477
当期支援額	30,542,477
前期繰越金	-2,011,981
プログラム支援額合計	28,530,496

プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	8,736,759
地域組織化プロジェクト	4,459,798
教育プロジェクト	6,198,751
水衛生プロジェクト	4,435,405
保健プロジェクト	5,926,816
プログラム支出額合計	29,757,529
次期繰越額	-1,227,033



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
 電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)
 FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp
 e-mail：dservice@worldvision.or.jp